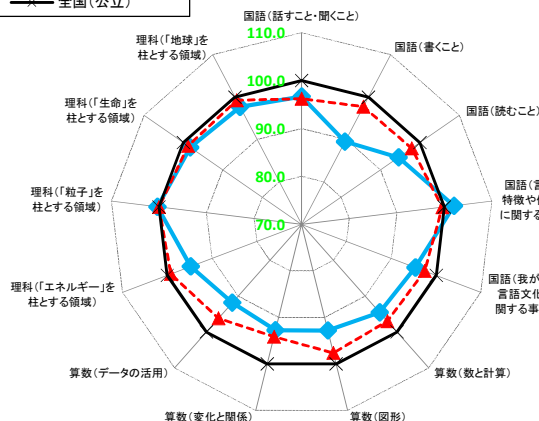
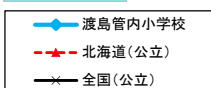
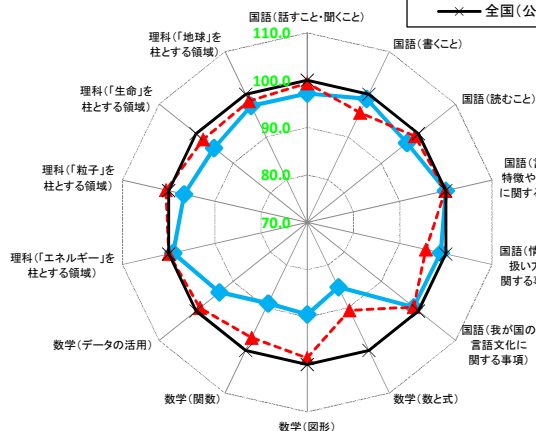
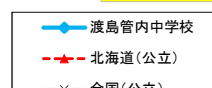


■渡島管内の状況及び学力向上策（小学校数:76校、児童数:2279人）（中学校数:41校、生徒数:2189人）

小学校【教科全体の状況】

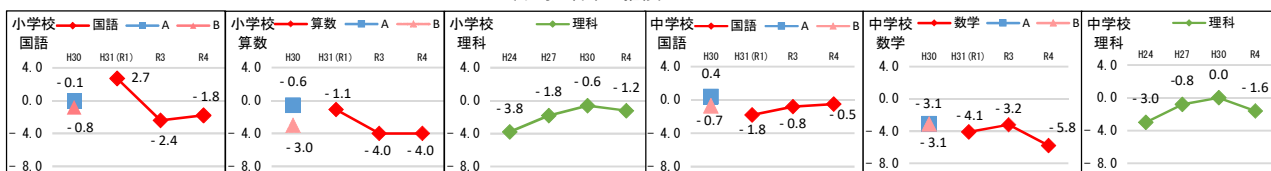


中学校



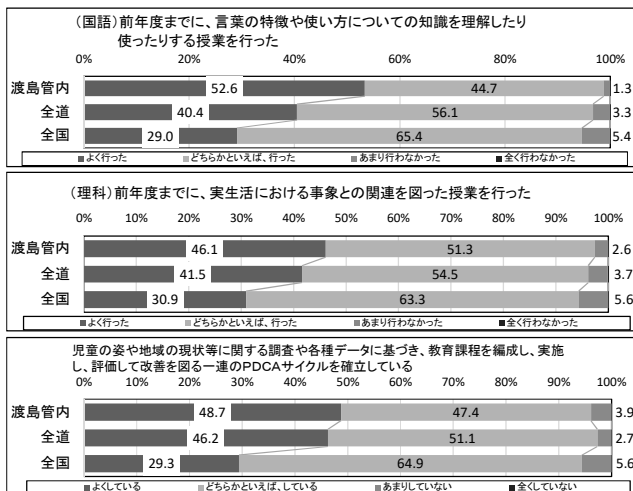
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの（管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出）

〔平均正答率の推移〕「管内の平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の経年変化

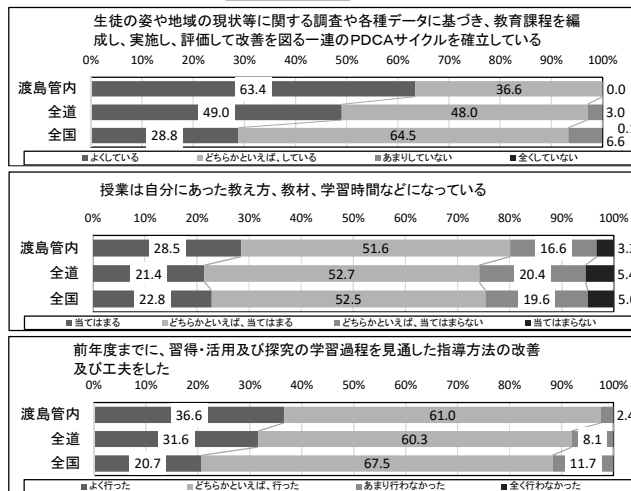


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

管内の多くの小学校において、国語の指導として、前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業をよく行ったことにより、「言葉の特徴や使い方に関する事項」で全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

管内の多くの小学校において、理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行ったことにより、「『粒子』を柱とする領域」で全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

渡島管内教育の充実に向けた「5つの行動指標」において、「守る(児童生徒の資質・能力の育成に向けた取組の充実)」を重点項目として設定したことにより、児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していると回答した学校の割合が全国を上回ったと考えられる。

中学校

渡島管内教育の充実に向けた「5つの行動指標」において、「守る(児童生徒の資質・能力の育成に向けた取組の充実)」を重点項目として設定したことにより、生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していると回答した学校の割合及び、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていると回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

経験年数の少ない教員等を対象とし、個々の授業力の向上を目的とした局独自事業「授業改善プロジェクト」を実施したことにより、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたと回答した学校の割合が全国を上回ったと考えられる。

【渡島管内の学力向上策】については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

渡島管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1) 「5つの行動指標」に基づく組織的な教育活動の推進

- 教育の質の向上に向け、管理職のリーダーシップの下、組織として教育活動に取り組む体制を整備する必要がある。
- 「5つの行動指標」の共通理解を図り、各市町教育委員会及び学校が一体となった取組を推進

(2) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業改善

- 教員の指導力の向上に向け、全教員が日常的な授業改善に取り組む必要がある。
- 個別最適な学びと協働的な学びの観点に基づく学習活動の改善・充実
- ICTを効果的に活用することによる主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の促進

(3) 小・中学校9年間を見通した系統的な指導体制の確立

- 9年間を通じた学力の向上に向け、教育課程の接続や、系統的な指導など、計画的・継続的な取組を推進する必要がある。
- 中学校区の学校間で共有した「目指す子ども像」に基づく指導体制の整備

2. 具体的な取組

月	(1) 組織的な教育活動の推進	(2) 授業改善	(3) 小・中学校9年間を見通した系統的な指導体制の確立
10	学校教育指導訪問（要請訪問）	授業改善プロジェクト（初任段階教員等） 教科等の授業参観及び協議	
11	各学校の取組状況の確認（取組の評価）	Pick re Seminar（全教職員） 教員の指導力の向上に向けた説明、交流・協議	
12	組織力強化会議②（令和4年12月6日(火) オンライン開催）		
1		授業改善セミナー（初任段階教員等） 「授業改善プロジェクト」に係る成果普及	
2			
3	各種事業における取組の評価		

3. 取組の評価

(1) 組織的な教育活動の推進 ○「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立」している学校の割合 ・現 状：小…62.5% 中…65.9% ・目 標：小…80.0% 中…80.0% ・達成値：小…48.7% 中…63.4% （参考） ・全 道：小…46.2% 中…49.0% ・全 国：小…29.3% 中…28.8% ※全国学力・学習状況調査	(2) 授業改善 ○「学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っている学校の割合」 ・現 状：小…57.5% 中…58.5% ・目 標：小…80.0% 中…80.0% ・達成値： ※今年度質問項目無し（参考） ○「指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列」している学校の割合 ・渡 島：小…48.7% 中…51.2% ・全 道：小…39.0% 中…38.3% ・全 国：小…27.9% 中…25.9% ※全国学力・学習状況調査	(3) 小・中学校9年間を見通した系統的な指導体制の確立 ○「前年度までに、近隣等の小・中学校と、教科的教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組」を行っている学校の割合 ・現 状：小…30.0% 中…51.2% ・目 標：小…70.0% 中…70.0% ・達成値：小…25.0% 中…39.0% （参考） ・全 道：小…21.7% 中…30.2% ・全 国：小…14.9% 中…22.2% ※全国学力・学習状況調査
---	---	--

4. 改善点

(1) 組織的な教育活動の推進 □ 計画訪問において把握した「5つの行動指標」に基づく組織的な教育活動の推進状況については、4段階評価で小3.3、中3.4であったことから、要請訪問において、行動指標に係る取組の充実を働きかけるとともに、評価に関するアンケートを実施	(2) 授業改善 □ 渡島教育局独自事業「オンラインサポート」「授業改善プロジェクト」「オンライン説明会」「期限付教諭等研修会」「Pick re Seminar」「授業改善セミナー」の実施により、授業改善の視点や具体的な方策等について指導助言	(3) 小・中学校9年間を見通した系統的な指導体制の確立 □ 9年間を通じた学力の向上に向け、学校種間における教育課程や指導方法等の共有の状況については、4段階評価で小3.1、中3.3であったことから、要請訪問及び組織力強化会議等において、教育課程の接続や系統的な指導など、計画的・継続的な取組について働きかけを強化
--	---	--